

## ポーッと生きてんじゃねーよ！！

先日、2年生の朝の会にてこんな問いかけをしました。

**「和室の座布団の端に必ずと言っていいほどついているツサツサ。  
あれって、、、なに？」** →



当然みんな知りません。そもそも、

「そんなこと考えたこともなかったです！」という子がほとんどです。読者のみなさまはご存知でしょうか？

というわけで僭越ながら、

**「ポーッと生きてんじゃねーよ！！」**を、気持ちよくお見舞いさせていただいた後、答えを発表。端的には「魔除け（災いを払う箒）」の役割があるそうです。

さて、もう一つ私からした

「花っていろんな色があるけど、何のためか知ってる？」という問いに、

**「チョウチョは種類によって見える色素が違うから花が狙った虫にだけ美味しく見えるように色を変えてるんじゃないですか？」**

という、非常にハイレベルな予測を立てたC君を指名し、

《この1日過ごす中で日常生活における「疑問」を一つ見つけてくること》をお願いしました。

そして帰りの会で、C君は

「ホコリってなんで何もしなくても出続けるのか」という

**疑問**を発表してくれました。

子どもたちの多くが、そもそもホコリが何から出来ているのかを知らないということには驚きましたが（笑）、その疑問も含め

て、インターネットで**調査した結果**、スッキリと

**「疑問の解決」**ができたのでした。（正解はググってみてください。）

その日は一日、数名の生徒が私のところに来て

「空が青いのは海が青いからだって言いますけど。そもそもなんで海は青いんですか?!」

「雨は透明なのに雪が白いのはなんで?」「人はなぜ生きるのでしょうか?」などなど「なぜなぜ期」を思い出したかのように、疑問をぶつけてきてくれました。(そして私は一つも答えられませんでした…w)

## 仕事の本質は課題解決

この様に、**1つ視点を変えて生活してみる**だけでも様々な疑問に気づくことができます。

こうした視点を今度は「身の回りの人の困りごとや、生活の中で感じる不便さ」 = **「世の中の課題」** に向けてみるとどうでしょうか?

課題というのは**「調査」**だけでは解決しません。

調べたことを参考に、

「解決に向けた」と**「行動計画」**を立て、それを**「実行」**に移し、

**反省と改善**を繰り返すことで、結果**「課題を解決」**することができます。

**課題発見→調査→計画→実行→反省&改善→課題解決**

…これはまさに社会における「仕事」のプロセスです。



繰り返しになりますが、今の中学生が社会に出る頃、

**「言われたことを言われた通りにこなす」という単純な仕事内容は、ほとんど消えているはず**です。



**課題を見つけ出す力とそれを高い質で解決する力【課題解決能力】**を身につけることが求められています。

C君が見つけてきた

「ホコリってなんでなくならないんだろう？」

という日常生活の素朴な疑問はまさに、**課題を見つけ出す力**を養うきっかけ、大切にすべき問いです。

私たちがかつて受けてきた学校教育を振り返るとどうでしょう？ **「そんな余計なこと考えるヒマがあったら勉強しなさい！」**こんな風に言われた方が多いのではないのでしょうか。

しかしこれからの子どもたちには、「面白いこと考えるね！それもう少し調べてみない？」という働きかけをするべきです。



時代は変わっています。

学校・家庭・地域の大人側の発想の転換、アップデートができれば子どもたちの歩みの足枷にすらなり得るのです。

鹿追中学校の職員一同、そのことを肝に銘じアップデートに取り組んでいます。「大きく変わる」と書いて、、、本当に大変です！ですが、本格実施から4ヶ月、子どもたちに変化の兆しが現

れ始め、だんだん面白くもなってきました！

保護者や地域のみなさまにも、子どもたちの変化が目に見えて伝わる。そんな日が訪れると良いなと思っています。

さてこの、

**課題発見→調査→計画→実行→反省&改善→課題解決**

の各サイクルを子どもたちが実際に体験し、ブラッシュアップさせていくことを目的として先日始動した学習が、

**SA（奉仕活動）**と

**CP（コミュニティプロジェクト）**です。

地域の皆さまにも深く関わっていただくことになるこの活動については次号以降で紹介させていただきます。

# Unit1総括的評価課題概要一覧【3学年編】

Unit1ラスト、3年生の課題一覧をご紹介します。

教科	課題の概要（役割+状況・課題+成果物など）	重要概念
言語と文学 【国語】	あなたは今から約1000年前の平安時代に生きています。今は、京都御所で天皇を警備している武士ですが、これから家族と離れ、出家して、短歌を詠みながら日本中を旅することを決意しました。その決断した思いが、1000年後の人々にも伝わり、影響をあたえるような短歌を創作し、解説文を添えて発表しよう。（総括的評価課題：短歌の創作とその解説文）	創造性
数学	B4サイズ用紙に学級目標を描いた。これを学級に掲示するため、一回り大きいB3サイズに拡大したものを作りたい。コピー機の倍率の意味を理解し、目的に応じた掲示物を作るための「手順書」を作成し、掲示物を完成させる。ただし、手元にある用紙はB4、B5のみで、コピー機にはB3サイズを印刷する機能がないものとする。	形式
個人と社会 【社会】	あなたは日本の科学者です。あなたが対象とするのは世界の科学者たちです。あなたは数日後に控えた世界科学者会議においてAI兵器の導入の可否を国の代表として意志表示しなければなりません。それに向けてのプレゼンテーションを作りなさい。	変化
理科	地球のこれまでの歴史の中で様々な変化をしながら誕生してきた生物。今後、どのような進化を遂げていくのだろうか？これから想定される地球環境などを根拠に考えていきます。（総括的評価課題：レポートの作成）	関係性
言語の習得 【英語】	あなたはこれからアメリカの高校へ留学する高校1年生です。留学中は日常生活の様々な場面に英語で対応することが求められます。あなたは学んできたシチュエーション別の英語表現を運用するとともに、そこでふりかかる予期せぬハプニングに臨機応変に対応しその場を上手く切り抜けねばなりません。（総括的評価課題：実技テスト）	コミュニケーション
芸術 【音楽】	あなたは、とある音楽出版社のスタッフです。このたび、DVD制作部から「メトロポリタン・オペラの日本公演」を収録したDVDと日本の伝統芸能である歌舞伎の中高校生向けの鑑賞用DVDを作製することになり、DVDのケースに使用するジャケット制作を依頼されました。2つの舞台について様々な情報を含めたDVDジャケットを作成しなさい。	完成と変化
芸術 【美術】	あなたは鹿追町の若き芸術家です。「馬の絵作品展」「十勝こども大会」「文化祭」などの作品を出品することになりました。作品展の出品条件を満たした内容で、自らの作品を制作してください。（総括的評価課題：レポート・作品）	美的感性
保体	自分に合った効率の良い動きは何か（総括的評価課題：レポート）	アイデンティティ
デザイン 【家庭】	「自分史のまとめ」と「幼児とのふれあい体験」を通して、感じたこと、学んだことを伝えあい、学び合おう！	コミュニティ
デザイン 【技術】	領域D；これからSE部の一員として、プログラミング的思考力の発揮を求められます。最終課題までの計画を立て、アルゴリズムの条件分岐処理のmissionをクリアしましょう。ローバーロボットを衝突回避できるようにプログラミングできるでしょうか。（総括的評価課題；テクノロジーの進化は人間を見つめられているのか、技術をガバナンス）	システム

**3学年 総括的評価課題紹介 6月編**

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

バックナンバー	概要
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.1</a></p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や<b>国際バカロレアとは何か?</b>について書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.2</a></p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。<b>当日の動画や資料も見られます。</b></p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.3</a></p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた<b>参観授業（国語）を IB 視点で解説</b>しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.4</a></p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を<b>《概念》</b>と絡めて書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.5</a></p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から<b>《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》</b>に対する工夫について紹介しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.6</a></p>	<p>IB 教育の大きな柱である<b>ATL スキルと 10 の学習者像</b>とはどういったものかについて、<b>道徳の授業実践</b>を元に解説しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.7</a></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったという話と、1 学年の <b>Unit1 総括的評価課題の概要一覧</b>を紹介し</p>

	ています。
<a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO.8</u></a>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。